

地方創生・国スポ・障スポ大会対策特別委員会

- 1 開催日時 令和3年11月19日（金） 9時59分～14時16分
- 2 開催場所 第四委員会室
- 3 説明員 商工観光労働部長、土木交通部長および関係職員

4 議事の概要

(1) 滋賀交通ビジョンの総括について

委員からは、地域公共交通を考えていく中で、CO₂ネットゼロの流れなど、前提条件となる社会状況を明確にしておくべきである、滋賀交通ビジョンの見直しの中で、公共交通への行政のかかわりについて、「移動の権利の保障」という理念を位置付けられたい、各市町や広域で策定されている地域公共交通計画の達成状況を評価・分析し、それを支えるための滋賀交通ビジョンを構築して、県としての支援体制を整えられたい、交通環境学習について、高校生や大学生に対しては、CO₂ネットゼロへの貢献の観点など、レベルを上げた教育を入れ込んで、体系的に進められたい、併せて、公共交通がMaaSなどにより技術的に進化していくと、シニア世代向けの教育がより重要になるのではないかと、高速道路上の自動運転を見据えると、物流センターを高速道路に直結させることが重要であり、当県は関東に向けた関西の物流拠点になり得ると考えるので、滋賀交通ビジョンにもそのような事を位置づけられたい、緊急時や災害時を前提とした滋賀交通ビジョンの見直しが必要ではないか、公共交通の活用促進による渋滞緩和を検討することが重要ではないか、交通に係る税制の議論も重要だが、まずは地域公共交通の利用促進が重要ではないか、などの意見が出された。

(2) (仮) ビワイチ推進条例案について

委員からは、サイクルツーリズムという言葉定義づけして本文で使用すれば、より県民に分かりやすく発信できるのではないかと、内陸部という表現について、滋賀県民は琵琶湖に対する内陸部だと理解ができると思うが、県外の方は分かりにくいのではないかと、人材の育成について、今後ビワイチを県の観光振興のトップブランドとして位置付け、地方創生に活用することを目指しているのであれば、既に関係事業に従事している社会人だけでなく、これから社会に出る高校生等の学生の育成も必要なのではないかと、自転車の安全な利用に関する取組について、安全の確保の対象者に、歩行者という概念を加えられたい、ビワイチの日について、特定の

日を象徴的に規定することに加えて、ビワイチ推進週間を設けてはどうか、県内ではタンDEM自転車の2人乗りが可能であり、視覚障害者の方も利用できるのも、障害者の方に対する記載をすべきではないか、ビワイチだけでなく様々なレクリエーションが推進されるべきだと思うが、ビワイチの推進に特化した条例を制定するのであれば、その根拠となる説得力のある数字が必要なのではないか、などの意見が出された。



委員会に配付された資料

資料1 滋賀交通ビジョン総括

資料2-1 (仮称) ビワイチ推進条例(案) (たたき台) 概要

資料2-2 (仮称) ビワイチ推進条例(案) (たたき台)

資料2-3 滋賀県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例 新旧対照表(案)